社会福祉法人ちひろ会

施設名 ぎんどろ保育園

報告者 原中 久美子

令和2年リスクマネジメントに関する年間取り組み経過報告

1、ヒヤリハット

月	重点項目	取り組み内容・結果
4	・手洗い、うがい、咳エチケット	・コロナウイルス感染予防の為、手洗い、
	で感染症予防	うがいなどの予防対策を再確認し、取
	・目くばり、気くばり、心くばり	り組んだ。
		・今後も取り組んでいく必要があるとの
		反省が多かった。
5	・気のゆるみ、ネジのゆるみは締	・遊具などのネジの確認、気持ちを引き
	め直し、病気や事故を予防しよ	締めて過ごすよう心掛けた。
	う。	・連休があり、生活リズムを整える事の
	・生活リズムを整えて健康に過ご	大切さを家庭に伝え、大きく乱れる子
	しましょう。	はいなかった。保育者自身も生活リズ
		ムを整えながら、過ごせたという反省
		がでた。
6	・整理整頓をしましょう!~部屋	・慣れた環境をもう一度見渡し、危険な
	の綺麗は心も綺麗〜安心安全に	個所がないか確認もし、綺麗に保てる
	遊べる空間を~	ようにした。
	・梅雨の時期、手洗い・うがい・	・玩具消毒をこまめに行い、感染症が流
	消毒でバイバイ菌	行ることなく過ごせた。
7	・慣れに慣れずに再確認	・確認する事で防ぐことができたヒヤリ
	・暑い夏がやってくる!!早寝早	ハットが数件上がった為、環境、声の
	起き朝ごはんで体調を整えまし	掛け合いなど、確認する事を意識し
	ょう	た。
		・保護者と朝ごはんや就寝時間の話をす
		るよい機会となった。
8	・大丈夫?気になることは確認・	・気になった事は言葉に出して相手に確
	相談	認する、伝える事を意識した。忙しく
	・夏がやってきた!!早寝早起き	なると声を掛けずに過ごしてしまう
	朝ごはんで体調を整えましょ	事があると反省があがる。
	う。	・暑い夏を健康に過ごす為、生活リズム
		を整えながら過ごす事が出来るよう
		家庭にも声を掛ける。大きく体調を崩
		す子もなく過ごす事が出来た。

9	・ソーシャルディスタンスを保ち	・噛みつきやひっかきが多く見られた
) 	・ ノーシャルティスタンスを休らしましょう	・ 咽みりさやいっかさか多く見られた 為、距離を保つよう心掛けた。未然に
	・手を繋ぎ、確認しよう!交通ル	防げる事が増えた。
	ール・身の安全	・登降園時に親子で手を繋ぐ事を呼び掛
	7 月の女王	けた。今後も促しが必要である。
1 0	・子どもの目線になり、確認しま	・子どもと大人の目線では、見える景色
1 0	しょう	が違うことを意識し、物の置き場所等
	・手を繋ぎ、確認しよう!交通ル	気を付けた。危険な個所は置き場所を
	ール・身の安全	工夫し、声を掛けあった。
	7 対の女王	・駐車場内で遊ぶ子がいる。引き続き声
		を掛け続ける。
1 1	・子どもの目線になり、確認しま	・子どもにどのような言葉を掛けたら分
	しょう	かりやすいのか等、自分自身や保育士
	・流行る前に予防を〜手洗い・う	間で確認する機会とした。
	がい・丁寧に~	・2歳児は手首も洗うなど、より綺麗に
	, , , , , ,	洗えるようになった。
1 2	・身だしなみを整えましょう~	・冬になり裾、袖が長い服を着ている子
	袖・裾長くありませんか~	が増えた。家庭から捲ってくる姿が見
	・大丈夫、そう思っても周りを安	られた。
	全確認	・雪が降り、凍っていたり屋根の氷柱が
		見られた。大丈夫と思っても一度確認
		する事を徹底した。
1	・身だしなみを整えましょう~	・2歳児は裾、袖が長い事に気が付き、
	袖・裾長くありませんか~	自分自身で捲る子もいた。
	・落ち着いて、余裕をもって	・子どもの危険な行動を予測し、対処で
	再確認	きる余裕を持つ事を意識した。意識の
		幅を少しでも広げる事が出来たと感
		じる。
2	・時間と心に余裕を持ちましょう	・雪が降り、登園や出勤時間に余裕を持
	・安全は、沢山の目があってこそ	てるよう呼びかける。気を付けて行動
		できたという反省が多かった。
		・誰かが見ているから大丈夫と思わず、
		声を掛け合い過ごせた。
3	・初心に戻って安全確認	・年度末になり、気忙しくなる時期だが、
	・時間と心に余裕を持ちましょう	環境や子ども達への対応の仕方等を
		振り返る機会とした。

	・2ヵ月連続での重点項目とした。早め
	早めの行動する事が出来たという反
	省があがった。

考察

- ・今年度も園だけの取みとせず保護者も意識していけるよう、わかりやすく取り組みやすい内容を心掛け、重点項目とした。月末におたより帳に『重点項目チェック表』を貼付し、保護者も意識し取り組めるよう促す。『○』が付き、どのように取り組んだのかを記入してくる家庭が増え、意識して取り組む事が出来たのではないかと感じている。
- ・毎月、確認をする事で防ぐ事が出来るヒヤリハットがあがる事が多かった。環境設定、 言葉掛け、職員間での報連相など、様々な事に対してわかったつもりにならずに『確認』 する事の大切さを感じている。個々が意識して過ごしていく事が大切と感じるので、今 後も取り組んでいく。

2、事故

月	打撲	擦過傷	噛みつき	その他
4	4	2	0	
5	1	2	0	2 (上唇小帯裂傷)・1 (上唇小帯内出血)
6	1	3	2	3 (内出血)・1 (ひっかき)
7	4	4	3	
8	3	1	1	1(下唇裂傷)
9	5	1	8	1 (上唇裂傷)
1 0	4	4	0	2 (唇裂傷)
1 1	2	6	1	1 (下唇裂傷)・1 (転倒により鼻血)
1 2	2	4	0	
1	3	1	1	2 (下唇裂傷)
2	3	0	0	
3	6	4	1	

- (1)曜日別【月(21件)火(23件)水(15件)木(24件)金(19件)土(件)】
- (2) 時間別【7:00~9:00 (14件) 9:00~12:00 (63件) 12:00~15:00 (5件) 15:00~17:00 (20件) 17:00~19:00 (0件)】
- (3) 月齡別【0歲児(0件)1歲児(62件)2歲児(40件)3歲児(件)4歲児 (件)5歲児(件)1年生(件)2年生(件)3年生(件)4年生以上(件)】

(4)場所別【保育室(41件)遊戯室(33件)トイレ(0件)玄関(0件)園庭(5件) 公園(6件)その他戸外(16件)その他(スロープ1件)】

(5) まとめと対策

- ・転倒によるケガが多く見られた。転倒を防ぐことだけではなく、転倒時の体の使い方が身に付くよう、引き続き運動遊びを積極的に取り入れていきたい。
- ・6月~9月にかけて1歳児の噛みつきが多かった。噛む子はだいたい同じ子なので、対応の仕方を工夫する事で減っていった。
- ・保育室でのケガが多かった。環境設定や遊び方の工夫を保育士間で積極的に意見 を交し、安全に過ごせるよう努めていきたい。

3、今後の課題及び対策

- ◎危険を予測し、対応策を考える力を持つ。
 - ・SELL分析を取り入れ、活動を行う時に予測できる危険はなにか、それはどのようにしたら防ぐことが出来るのか等、知識を持つことで視野を広げ事故防止に努めていく。
- ◎重点項目は細かく、わかりやすく表記する。
 - ・今年度の重点項目は『確認』という言葉を多く使った。 確認する内容は様々あるので、具体的な内容にする事で意識しやすく取り組み やすいようにしていく。